



始まりの時



4月3日、45期生の入学式を挙行了しました。真新しい標準服を身にまとい
新たな希望に胸を膨らませて入学してきた新入生のみなさん、改めて本当におめでとうございます。
以下に入学式で校長先生が皆さんに贈った式辞を紹介します。

式 辞

横堤中学校第45期生、101名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

また保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は、お子様のご入学、本当におめでとうございます。教職員を代表して心からお祝い申し上げます。

さらに本日は、常に子どもたちや学校を温かく見守っていただいているご来賓の皆様にもご臨席賜り、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、皆さんは、コロナ禍のため、当たり前前が当たり前できない日常が多かった小学校の六年間を立派に修了し、晴れて横堤中学校の門をくぐりました。今、どんな気持ちでこの場所にいますか。少し不安があるかもしれませんが、期待に胸を膨らませていることかと思えます。そんな皆さんを横堤中学校の教職員はどんな時も温かく包み、支えてくれます。どうか安心してください。

そんな皆さんにお話ししたいことが二つあります。一つ目は本校の校訓についてです。

本校の校訓は「**自主・協同・忍耐**」の3つです。最初の「**自主**」とは「**自ら考えて行動すること**」です。自ら考えるために、毎日の授業を通して、多くのことを吸収し、自ら学ぶ力や考える力を養ってほしいと思います。二つ目の「**協同**」は、「**心と力を合わせて助け合うこと**」です。相手の立場に立ち、仲間とともに「認め合い、高めあう集団」をつくっていきましょう。そして、みんなで喜びや感動を分かち合ってほしいと願っています。最後の「**忍耐**」とは、「**決してあきらめず、最後までやりぬく**」ことです。何事も辛抱強く、一生懸命に取り組む習慣を養っていきましょう。

もう一つお話ししたいこととして3月の修了式で新2、3年生に話したことを皆さんにも伝えたいと思います。校長先生は卒業式の式辞の中で、「卒業生の皆さんは後輩たちが先輩に憧れるという文化」を作ってくれました。という話をしました。そして新2、3年生にはこれからは後輩が先輩に憧れるだけではなく、「**頑張っている人を正しく認める文化**」を築いてほしいと話しました。年齢差や大人だから子どもだからではなく、周りにいる人の良い面を認めるという文化です。人はともすると周りの人に対し、自分よりも劣っているところや嫌なところを探し、時には攻撃し、自分を優位にして安心しようとすることがあります。しかし、それでは一人一人の成長はストップしてしまいます。一緒に「**人を認める文化**」を築いていきましょう。

みなさんの前に、「翔」の花文字が掲げられています。これは新2年生が、みなさんのご入学のお祝いに、制作したものです。これから始まる中学校生活で、みなさんに雄々しく羽ばたいて欲しいという願いを込めています。

最後になりますが、校長先生には1つの夢があります。それは「**止まり木のような学校を創る**」という夢です。止まり木とは飛ぶことに疲れた鳥たちが木に止り、羽を休め、また元気に飛び立っていく。そんな木のことです。苦しいことや悩み事があっても横堤中学校に行けば元気になる。友達や先生たちの顔を見たら安心できる。だからまた明日から頑張ろうという気持ちになれる、そんなあったかな学校を創りたいと思っています。どうか皆さんの力も貸してください。一緒に毎日、楽しく過ごせる学校を創っていきましょう。

では、新入生の皆さん

『新しいことは、人の縁が運んでくれる。まわりを優しい目で見れば、優しい目で見えてくれる人が現れる。まわりの成功を心から喜んでいれば、応援してくれる人が現れる。こんな人と出逢いたいと思ったら、自分がそういう人になれば、そういう人が現れる。人の「縁」は、あなたの鏡のようなもの。素敵な縁に巡り会いたかったら、まずは自分が素敵になろう。』

という言葉をご贈り、私の歓迎の言葉とします。